

西郷村の人口及世帯数
(48. 1. 1 現在)

世帯数	2,331
人口	10,490
男	女
5,217	5,273



発行日 昭和48年1月20日発行

発行所
西郷村役場
(電話 02482)
白河(5)2121(代表)

編集発行
企画開発課

印刷所
ワタベ印刷所

「春」近し!

にじ鱒の孵化始まる



大寒の凍てつく寒気をよそに
にじ鱒の孵化作業が

今年の幸を願って盛んに行われています。

「虹」鱒

|| サケ科の冷水性淡水魚 ||

日本には明治十年、多摩川に放流したのが最初で、現在では人工孵化技術の進歩により湧水の豊富な長野、山形、福島各県で池中養殖が盛んになって来ました。

北アメリカ西部が原産地、含有酸素量の多い河川、湖沼の冷水を好み、生息適温は一〇—二〇度C、体側に虹色に輝く紫紅色の従帯があるため虹鱒の名があり、体長は九十糎にもなると云う。

採卵後約四十日程で稚魚となり今年も初夏の味覚として西郷を訪れる人の食膳を飾ることでしよう。

【写真は林養魚場採卵風景】

年頭のあいさつ

年頭にあたりて



市長 佐藤 歸一

皆さん、明けましてお芽出度うございます。昭和四十八年の新春にあたり御挨拶を申し上げます。

我が国も国民の懸命なる努力により、経済的には大変豊かになりました。

新春を迎えて



村議会議長 相川 清衛

村民の皆さん、明けましておめでとございます。

昭和四十八年の輝かしい新春を迎え、心を新たにされたこと、存じます。

私共、議員は議会の品位を高め、更に村政の伸展を目的として村民の声を余すことなく議会に反映するため、微力ではありますがが努力を傾注して参りました。

しかし反面工業の急激なる発展による公害の発生、地方開発などによる自然破壊等望ましくない現象もあらわれています。

また一方高度成長経済による格差が到るところに出て不均衡な社会現象が人々を苦しめて居ります。

政府国会に於てもこれらのことを重く見て生産より福祉を政策転換を期して居ることは御承知の通りであります。

みなで楽しく働き愉快地に生活する為には、農業をお客様を持ちまして大過なく新年を迎えました事は村民各位のご支援と心から感謝の意を表します。

申し上げるまでもなく世は正に変わろうとしております。特に種々の点で開発要素を有する本村は「東北新幹線新白河駅」「東北自動車道白河インター」の実現によって今までにない急速な速度で村の姿が大きく変わります。社会的、経済的な流れの中で村政も一大方向転換を余議なくされ、「決断」と「実行」が強く要請されて参りました。

もっと楽しくできるようにし、交通事故がなく快適に通行できる舗装道路をこしらえ、若い人が喜んで村に留まり、村を愛するように働く場所を拡げ、子供達は恵まれた環境のもとで勉強ができるようにしたい。

年寄りになつて皆に感謝され、敬われる村を造ることとはもっと大切なことである以上、これが実行される為には村の各方面でいろいろな開発の計画があります。即ち新幹線駅周辺整備の

新しい村造りもかゝる観点から再出発し時代の推移に乗りおくれることのない西郷村を築き上げる必要がありま。

即ち新しい農村環境の西郷村の建設の為に現在の農業をどう打開して行くか、工業をどの様な型で導入し農業と結びつけて行くか、水資源確保の為に黒川ダムの実現化、甲子方面の観光開発と整備、開発の要素である生活道路の舗装、国道二八九号線、四号線沿いの自然的な都市化への対処、学校教育施設の充実、幼児教育施設、生涯教育の推進

ための市街地区画整理、国立少年自然の家建設、インターチェンジ関連公共施設計画、総合福祉センター「太陽の国」の建設、那須甲子有料道路の実現化、村道、農道の舗装促進、幼児教育施設の充実、各種スポーツ施設の整備等でありまして、これらことを目標として、一生懸命頑張つて行きます。

然し着実にこれを実現する為には莫大なる財源を必要と致します。国及び県の援助を得る為、更に努力を要する問題であります。それに加えて山林・原野等不明確な土地取得と西郷村総合開発計画との関連性等は村民各位と共に今後の農業経営の進め方をふまえた型で慎重に考える必要があると思っております。如何に立派な開発計画を以ってしても村民の皆様様の協力なくしては実現不可能であります。議会は当然のこと全村民参加の政治

致します。また、いろいろの設備には用地が必要であります。これについて御協力がなければなかなか実現は容易ではありません。このことについては特に村民各位の御協力をお願い申し上げます。激しく動いている我村は将来目覚しく発展するであろうし、豊かな村として立派な都市近郊の村となるのであります。この明るい希望に満ちた今年を皆様と共に意義ある年とする様お約束して御挨拶と致します。

体制が必要となつて参つたのであります。議会は地方自治の本旨に基き村民各位のご意見、ご要望を充分尊重して村政に反映せしめ山積された問題解決の為、議会と村当局があたかも車の両輪の如く充分協議を尽し全力投球して村民福祉の向上と清潔で健康な明るい魅力ある西郷村建設に努力致す所存であります。最後に皆様様の旧に倍する御協力をお願い申し上げます。より発展の年であることを願ひ年頭のご挨拶と致します。

村議会報告

第四回定例会より

十二月十八日、村議会第四回定例会が開かれ、老人医療費助成条例改正、職員の給与条例の改正や補正予算など十一議案が可決されました。

◎老人医療費助成に関する条例の一部改正について

いままで七十五才以上の老人に医療費の自己負担分を助成していましたが、老人福祉法の改正により一月一日から七十才以上の老人に対し自己負担分につき助成されることとなりました。然し法による助成には所得制限があり、高額所得の老人には助成されません。そこで今回西郷村では条例により、全部の七十才以上の老人自己負担分に対して、村費で補って助成するよう条例の改正がなされました。

◎職員給与に関する条例の一部改正について

昭和四十七年八月十五日人事院勧告に基づく国家公務員の給与改正に準じての給与改正

◎白河地方土地開発公社の

設立について

公有地の拡大の推進に関する法律が成立して、白河地方広域市町村圏においては、早急に公社を設立して、実際の活動に移りたいため、今回各単位市町村に対し定額の議決と設立の決議が求められ、本村においても決議されました。

◎白河地方広域市町村圏整備組合規約の一部改正について

消防に関する規定の改正と白河市役所の移転に伴い事務所の位置の変更等がなされた。

◎土地開発基金の処分について

土地開発公社基本財産の出資金に充当するため土地開発基金が処分されました

◎土地開発基金の運用について

地を取得するための運用
 ◎一般会計補正予算
 今回の補正は、歳入、歳出それぞれ四千七百二十千円の補正増で予算総額は七億七千四百四十四万四千円となりました。

歳入については、村税、その他交付金で六百万円、地方交付税で一千万円の補正増、国、県支出金では一千七百八十四万円の補正増で長坂頭首工工事の国庫補助金七百四十四万円、高速道路関連土地改良事業補助金四百七十三万円が主なもの、又、土地開発公社の出資金、西郷灘、雪割橋駐車場用地取得のため四百五万円の土地開発基金の繰入、県の土木事業の負担金に充当するため県の振興基金七百万円の借入が補正されました。

歳出については、年度当初に行なった一般職員の給料格差の是正と、十月に遡って実施しようとしている単純労働職員の給与是正分今年度新採用職員の新規需要分、人事勧告によるアップ分、合計二千五百八十万円、新庁舎管理上必要経費(三百万円)、新甲子地区

消火栓施設増額分(五十三万円)、固定資産関係の電算機委託料(百十五万円)老人医療公費負担の七十才までの引下げによる増額(二百七十万円)、高速道路関連土地改良事業費(四百二十五万円)林道川前原線工事(二百七十一万円)台上農道舗装工事(百一十万円)、長坂頭首工災害復旧工事(八百五十三万円)、村道全般の明年度以降における改良舗装を計画的、かつ強力に推進させるための設計費(五百万円)、那須甲子横断道路の県工事負担金(七十一万円)、観光一部事務組合負担金(六十三万円)を計上しました。

以上、一般会計補正の概要を申し上げましたが、なお特別会計につきましては給与改正、その他による人件費の増額がその主なものです。

赤面山スキー場オープン

初すべり楽しむ

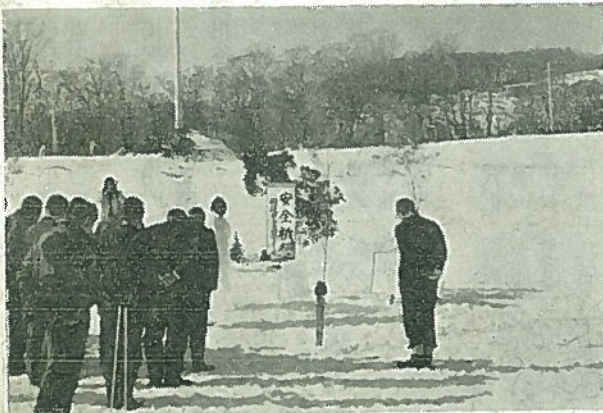
四十六年冬、西郷村赤面山に新設した開設甲子高原スキー場が去る十二月十六日、北那須コースの増設、駐車場の拡張、施設も一段と充実してオープンした。オープンに先立ち、赤面山総合開発KK、西郷村、白河市、観光一部事務組合那須町など関係諸団体が出席し、現地で神事を行ない期間中の無事故、安全を祈った。

この日は快晴に恵まれ、絶好のスキー日和、オープンと同時にカラフルなスキーウェアに身を包んだスキーヤーが詰めかけ、初すべりを楽しんだ。

同スキー場は東京から二時間三〇分という好立地にめぐまれ、東京から日帰りもできる本格的なスキー場がキャッチフレーズ。

ゲレンデはドウダンツツジ、シヤクナゲなどの高山植物群、ブナ、シラカバなどの原生林、頂上からは朝日、三本槍など千九百級の山が目の先、眼下には牧場、ゴルフ場などがつづく。東に阿武隈の山々、南には関東平野が広がり雄大なながめだ。

これら好条件に加えて、東北新幹線新白河駅の決定、東北縦貫自動車道のインターチェンジの建設、那須甲子横断道路の開通と将来は非常に便利になり今後の発展が期待される。



〔写真は：現地で行なわれた安全祈願祭〕

もうすぐ一年生

小学校新入生名簿できる

西郷村教育委員会では、村内各小学校一年入学児童の名簿の作成を急いでおりましたが、この程でできましたのでお知らせします。

この名簿に洩れている方又は名前等に誤りがありましたときは、教育委員会まで至急お知らせ下さい。

今度の一年生は総数現在のところ、一四五名となっております。

◎熊倉小学校区

☆鶴生

(児童氏名) (保護者名)

高久 克弘 高久 正文
 高久 真二 添田 恭弘
 添田 真二 添田 恭弘
 室井 サツ子 室井 一男
 佐藤 和司 佐藤 善吉
 青木 さゆり 青木 雄作
 森 純子 森 守
 栗田 昇二 栗田 とし子
 久保田 英美 久保田 英治
 有賀 正二 有賀 一男

☆真船

真船 明美 真船 豊
 真船 弥生 真船 真
 真船 千枝子 真船 一生
 植木 康生 植木 喜一
 菊地 明美 菊地 勇
 秋山 富士男 秋山 義春

☆熊倉

仁平 勝志 仁平 繁
 根本 和徳 鈴木 トク子
 鈴木 英明 鈴木 貫太郎
 芳賀 秀之 芳賀 弘栄
 ☆折口原
 中村 朋之 中村 良一
 秋山 勉 秋山 俊昭
 草野 紀子 草野 一
 外山 友子 外山 辰夫
 長谷川 江津子 長谷川 求
 田部 井文子 田部 井春江
 石井 洋子 石井 芳雄
 高田 恵美子 高田 義弘
 小椋 よし子 小椋 福太郎
 高崎 陽子 高崎 秋雄
 高崎 幸夫 高崎 兼吉
 中村 正 中村 敏男
 須藤 真由美 須藤 忠男
 藤井 春子 藤井 栄之助
 木村 喜一 木村 トシ子
 岩崎 弘 岩崎 宇源次
 菅野 秀樹 菅野 尚樹
 ☆追原
 八重樫 豊 八重樫 誠喜
 以上三十七名

◎米小学校区

☆米

菊地 英二 菊地 英雄
 相山 悦子 相山 清重
 小針 幸枝 小針 義規
 小針 義美 小針 義孝
 洋明 小針 富喜生
 伴子 小針 富喜生
 菊地 律子 菊地 順雄

◎小田倉小学校区

☆後原

刃見 綾子 刃見 邦夫
 大畑 建 鈴木 一夫
 生田 恭子 生田 芳弘
 ☆上新田
 相川 典子 相川 清徳
 相川 哲也 相川 光男
 小林 由喜 小林 保弘
 斎藤 幸治 斎藤 紀昭
 大竹 啓史 大竹 皓允
 佐藤 善生 佐藤 弥生
 後藤 章 後藤 章人

☆宮崎

宮崎 美智子 宮崎 欽正
 宮崎 徳美 宮崎 一光
 小林 久雄 小林 清美
 伊藤 孝夫 伊藤 勝治
 遠藤 園美 遠藤 吉久
 宮崎 礼子 宮崎 礼溢
 大清水 大清水 実
 高 幸恵 高 栄次
 添田 とも子 添田 栄次
 荒井 美恵子 荒井 春雄
 荒井 晴美 荒井 義一
 斎藤 明美 斎藤 一郎
 真船 恵美子 真船 昭吾
 真船 由美子 真船 淳
 真船 清美 真船 淳
 ☆黒川
 鈴木 克幸 鈴木 栄良
 鈴木 亘 鈴木 司
 佐藤 進司 佐藤 芳弘

◎川谷小学校区

☆一の又

湯沢 正彦 湯沢 正英
 以上四十七名
 ☆羽太
 緑川 尊志 緑川 弘一
 緑川 信行 緑川 和三郎
 緑川 聖子 緑川 次敏
 緑川 真由美 緑川 忠夫
 青山 加代子 青山 勝英
 伊藤 富久子 伊藤 厚
 近藤 美佐子 近藤 伊之吉
 鈴木 裕美子 鈴木 茂治
 ☆虫笠
 大高 恵子 大高 忠一
 大倉 賢二 大倉 甚八
 白岩 文恵 白岩 庫作
 鈴木 清子 鈴木 清栄
 白岩 陽一 白岩 寛
 以上十三名

◎白河第二小学校区

八木 和子 八木 フク

小山田智彦 小山田信之
 田中千栄子 田中 重次
 嶋名 浩二 嶋名 静夫
 渡辺 昌安 渡辺 隆幸
 高橋 信乃 高橋 勇
 猪熊 香織 猪熊 豊人
 丸山 武男 丸山 藤三郎
 田島 信幸 田島 忠男
 佐藤 恵子 佐藤 主次
 天米 由佳 天米 久幸
 以上十一名



新入学(園)児童を
 交通事故からまもり
 ましょう

役場はどんな機構で

成り立っているか (一)

そのあらし

四、五年前に各課紹介という事で、役場内の各課局室等の紹介をシリーズもので掲載したことがありましたが、それから、機構も変って来ましたが、役場も新庁舎へ移転して、面目を一新して執務していますので、ここでもう一度ご紹介しなすのもむだではないと、この稿を起しました。

まず、役場はどんな機構でなり立っているのか、全体を見て頂きましょう。

役場の機構図はこの一覧図のとおりですが、これは地方自治法の規定の中で、村の実情に応じて編成されている現在の西郷村役場の機構図です。

まず、村の統轄者、代表者として村長がおります。村長は又、村の事務の管理者、執行者でもあります。次に地方自治法等で定められた委員会及び委員があります。西郷村では、教育

委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会があり、これらの委員会は、法律によってそれぞれの権限を与えられて、執行機関としての職務を行なっております。

その他、村条例によって定められた、村長の諮問機関としての各種委員会があります。

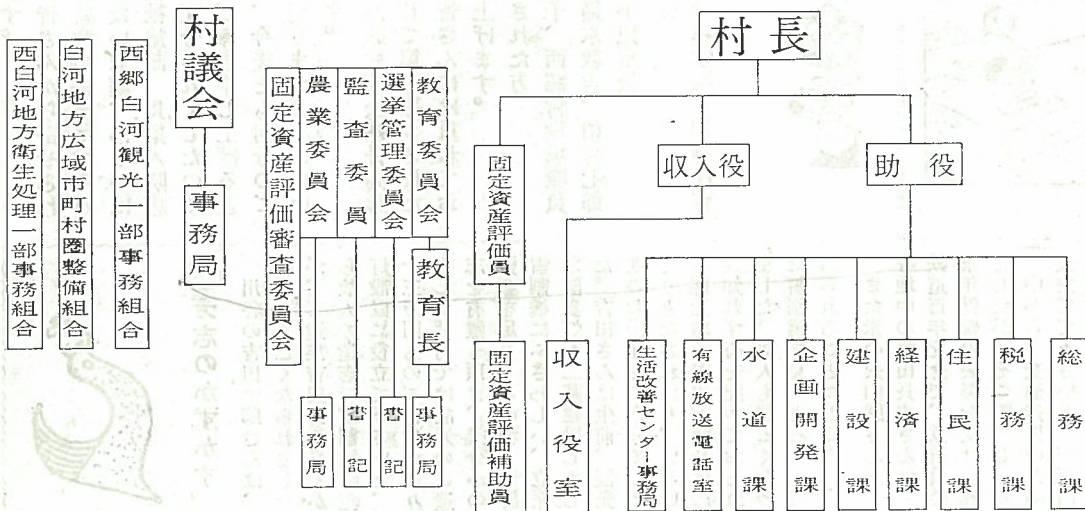
以上は執行機関に属しますが、議決機関として村議会があり、執行機関と、議決機関が車の両輪となって村政を運営しております。

また西郷村の加入している一部事務組合が三つあります。一部事務組合とは、地方自治法で定められた特別地方公共団体の一つで、地方公共団体の事務の一部を共同処理するため設けられた組合です。現在、西郷村の加入しているのは、西郷白河観光一部事務組合、白河地方広域市町村圏整備組合、西白河地方衛生処理一部事務組合の三つです。

次に村長の部局にもどりまして、まず村長の補助機関として助役、収入役、固定資産評価員がおります。

助役は、村長を補佐して村長の補助機関である職員に担任する事務を監督し、またときにより村長の職務

西郷村役場機構図



を代理します。

収入役は、村の会計事務をつかさどっています。

固定資産評価員は、固定資産の適正評価のため、村長の補助機関としておかれています。

村長の補助機関として助役の監督の下に事務を担当しているものは、西郷村では総務課、税務課、住民課、経済課、建設課、企画開発課、水道課の七課と、有線放送電話室、生活改善センター事務局の二局室があります。また収入役の下には収入役室があり、固定資産評価員の下には固定資産評価補助員がおります。

教育委員会の指揮監督の下に、その事務をつかさどるものとして教育長がおりその下に事務局がおかれています。

また選挙管理委員会、監査委員には書記が置かれています。更に農業委員会、村議会には、それぞれ事務局が置かれています。

以上で、役場機構のあらましをご紹介申し上げましたが、次号から各論に入り各課局室等の説明をいたしたいと存じます。

老人医療費 十割給付

老人福祉法、西郷村条例の一部改正により七十才以上のすべてのお年寄に対して、一月一日から医療費が無料になりました(所得制限なし)

これからお医者さんにかかる場合、持参する書類をお知らせします。

一、保険証

二、老人医療費受給者証(赤いカード)

三、老人医療費請求書一枚(三枚送付してあります)尚、満七十才になった場合、役場住民課に「老人医療費受給者証交付申請書」がありますので記入の上提出して受給者証を受けて下さい。

その他、不明な点がありましたら役場住民課へお問い合わせ下さい。



昭和四十七年度歳末助け

合い運動の結果について

右表の数字は昭和四十七年度歳末助け合い運動で、村民各位より寄せられました。た募金額及び交付配分額で、あり、多大の成果が納められましたこと深く感謝申し

部 落	募金額	部 落	募金額	部 落	募金額
米	19,200	追 原	12,450	黒 川	16,800
長 坂	6,300	真 船	13,470	一 の 又	14,350
柏 野	7,200	熊 倉	19,200	芝 原	8,700
赤 淵	1,200	下折口原	13,360	川 谷	16,550
下羽太	11,480	上 〃	16,800	黒 森	2,860
上羽太	8,200	山 下	9,700	伯母沢	6,480
中久保	900	下新田	28,650	間の原	7,200
虫 笠	7,800	上新田	19,510	篤志募金	7,100
真名子	2,100	原 中	20,000	役場職員	18,645
鶴 生	6,000	牧 場	4,500	合 計	326,725

	金 額	備 考
市内居住者見舞金	148,900	65世帯 192人
施設入所者	91,200	264人
施設見舞金	43,200	11ヶ所
郵送雑費	8,100	郵送代、印刷代
合 計	291,400	

差引残額 35,305 (貸付金庫へ繰入)



上げます。又、皆さんから寄せられました善意の寄金は村内の恵まれない家庭、あるいは社会福祉施設、長期入院患者等に配分されましたのでここに報告申し上げますとともに、今後とも何分のご協力を賜りますようお願い致します。

尚、西郷村社会福祉協議会を通じて篤志募金された方々の皆さんには重ねてお礼申し上げます。

◇募金された方
鈴木友子、西郷村役場職員一同、鍵水教吉、柏村七郎
小田倉小児童会
◇配分先
白河めぐみ学園、川谷保育所



ご芳志のかずかず

川谷の吉田伍郎さんは、昨年一月亡くなられましたが、ご遺族吉田あやさんから故人の遺志で雪割橋防犯灯設置に役立て下さいと、十三万円ものご寄付がありました。村では故人のご遺志を有難く頂き、幾分か資金を足し、この程、名勝雪割橋にふさわしい、立派な防犯灯を二基建設しました。吉田さんは生前、観光地のお掃除をご自分でこっそりとなされたり、いろいろ観光地の美化と健全化に人知れず心を配っておられました。故人も明るくなつた雪割橋を見てよろこんでおられることでしょう。

また米の永山勝さんと、谷地中の藤田長夫さんは、鉄道百年記念で、鉄道員の永年勤続の表彰を受けられました。その際の金一封の中から、交通遺児のため役立てて下さいと、一万円づつ寄付されました。村ではこれを交通遺児の激励のため役立てたいと計画しています。

十二月の行事報告

日 曜	行 事
1 (金)	総合開発審議会、公害対策本部会議 県南地域労働福祉協議会、定例町村会
2 (土)	
3 (日)	
4 (月)	栃木県総和町公害対策審議会視察来庁
5 (火)	県献血バス「いずみ号」来村
6 (水)	
7 (木)	新甲子消火栓設置懇談会
8 (金)	村議会第二回臨時会、山下土地改良説明会
9 (土)	衆議院議員選挙準備
10 (日)	衆議院議員選挙、最高裁判官国民審査投票
11 (月)	米土地改良打合せ、真船土地改良説明会
12 (火)	米土地基盤整備打合せ、交通安全協議会
13 (水)	民生委員社協合同会議
14 (木)	議会厚生委員会、総務委員会
15 (金)	国民年金委員会
16 (土)	国設甲子高原スキー場オープン
17 (日)	議会委員長会議
18 (月)	白河地区クロスカン トリー大会
19 (火)	村議会第四回定例会
20 (水)	村議会定例会終了
21 (木)	歳末助合施設訪問、可搬式ポンプ大清水入札
22 (金)	新甲子国民宿舎経営組合会議
23 (土)	消防団長会議、西郷村PTA連絡協議会総会
24 (日)	国土開発幹線自動車道建設促進全国大会
25 (月)	観光一部事務組合会議
26 (火)	村民運動会反省会
27 (水)	農業委員会、村有牛事故処理委員会
28 (木)	貸付牛審委員会
29 (金)	国設甲子高原スキー場運営協議会
30 (土)	国保運営協議会、消防幹部会
31 (日)	村内学校施設火災対策点検、叙勲伝達御用納め